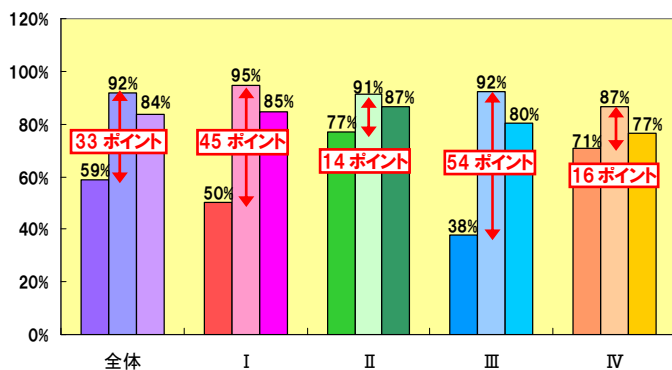


第1章 アウトカム指標のフォローアップ

1 - 1 アウトカム指標の進捗状況

2. この5ヶ年における目標値に対する進捗率を、全指標でみるとH19目標値に対する進捗率（H19実績値 / H19目標値）は92%、未達成となったものでは84%の進捗率となった。目標別でみると、【安全・安心】、【競争力】では90%を超えており、またH14初期値からの伸びが50ポイント前後と非常に大きい。H19目標値に対し、着実に積み上げを行っていることがわかる。

アウトカム指標のH19目標値に対する進捗率（H19実績値 / H19目標値）



- 1 グラフ左側・・・H14 初期値
 グラフ中央・・・すべての指標の進捗率
 グラフ右側・・・目標が未達成となった指標のみの進捗率
- 2 アウトカム指標の進捗率は、100%を上限とせず算出
- 3 進捗率は、H14 初期値、H19 実績値、H19 目標値が明確である指標について計算し、算出できない指標は除いて算出
- 4 「第3次医療施設の1時間カバー率(人口)(面積)」は第3次医療機関数が増えたことによる大幅増であり、平均値の計算から除く
- 5 「全工事発注(整備局)のうち新技術・新工法を活用する割合」は新技術(NETIS)運用の見直しによる活用促進の結果の大幅増であり、平均値の計算から除く

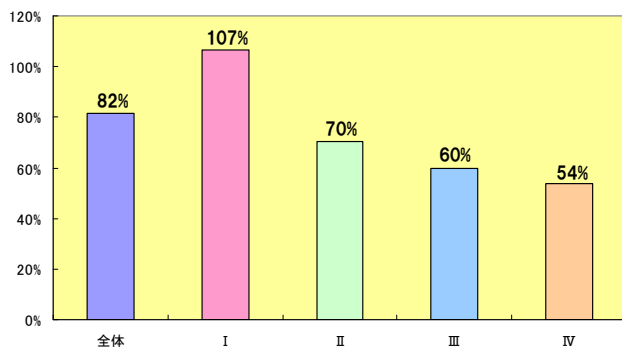
地域整備の目標

- 安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 中国地方の美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり
- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化

2. この5ヶ年における目標値に対する進捗率の伸びしろをみると、特に【安全・安心】の数値が高く、107%という結果となっている。進捗率が100%を上回る指標が複数あり、それらが目標の進捗率を引き上げたものと思われる。これに対し、【交流・連携】は最も低く、54%という結果となった。「高速道路等ICの30分カバー率(人口、面積)」の進捗率は、伸びしろでみると余り良い結果は得られず、目標の進捗率を下げる結果となっている。

アウトカム指標のH19目標値に対する進捗率

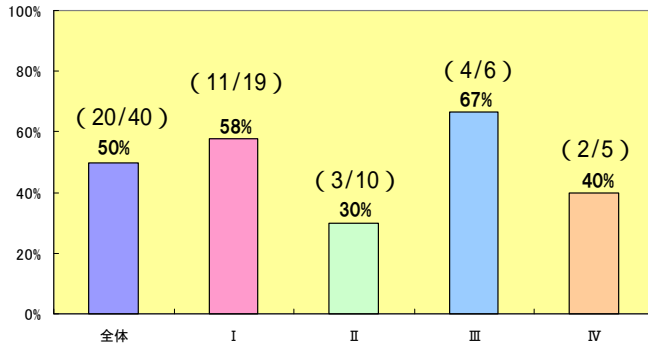
【(H19 実績値 - H14 初期値) / (H19 目標値 - H14 初期値)】



- 1 進捗率は、H14 初期値、H19 実績値、H19 目標値が明確である指標について計算し、算出できない指標は除いて算出
- 2 アウトカム指標の進捗率は、100%を上限とせず算出
- 3 「第3次医療施設の1時間カバー率(人口)(面積)」は第3次医療機関数が増えたことによる大幅増であり、平均値の計算から除く

3. この5ヶ年の予算の推移をみると、H14年度比で約8割と非常に厳しい状況であった。このような予算状況下において、より重点化を図り事業を進め、「災害要援護者関係施設の保全」「防災拠点官庁施設の耐震化率」「第3次医療施設の1時間カバー率」「渋滞による損失」等の【安全・安心】【競争力】関連についてH19目標の達成率は60%前後の結果となった。これに対し、老朽施設の改築更新・耐震化や別事業へ重点配分をすすめた「下水道処理人口普及率」「復元・創出された砂浜の面積」、また指標の変化が現れにくい「まちの魅力度」等の指標は目標を達成できず、これらの指標が多く含まれていた【自然・歴史・文化】【交流・連携】の達成率が低い結果となった。

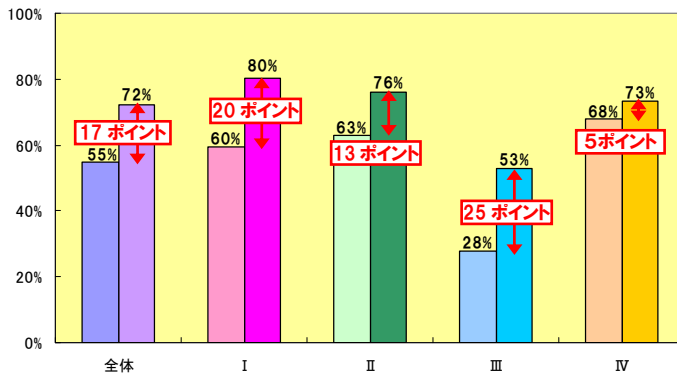
アウトカム指標の達成率（達成指標数/全指標数）



- 1 H19 目標値を設定していないものは達成率の算出から除く
- 2 () 内は達成指標数 / 全指標数

4. 将来目標に対するこの5ヶ年の進捗度をみると、【競争力】が25ポイントと高い伸びを示しており、次いで【安全・安心】【自然・歴史・文化】となっており、伸びが最も低かったのは【交流・連携】である。【競争力】の進捗度は最も低い、5ヶ年での伸びが高い指標に目標全体が引き上げられ、高い伸びを示した。【交流・連携】の進捗度は比較的高い部類に入り、個々の指標も目標達成に近いものが多いが、5ヶ年における伸びは全体的に低い。それぞれの指標で重点化を図りながら、着実に整備が進められている。今後とも時代のニーズにあった重点化・効率化を図りながら必要な事業について積極的に取り組むことが重要である。

アウトカム指標の将来目標に対する進捗度



- 1 グラフ左側・・・H14 時点での将来目標値に対する進捗率
グラフ右側・・・H19 末時点での将来目標値に対する進捗率
- 2 H14 初期値及び将来目標値の設定されていない指標は除いて算出

進捗度算出の対象となる指標は、以下のとおり。

・安全安心

- 港湾による緊急物資供給可能人口
- 防災拠点官庁施設の耐震化率
- 事前通行規制による孤立人口
- 迂回路確保率
- 道路のバリアフリー化率
- 官庁施設のバリアフリー化率
- 第3次医療施設の1時間カバー率（人口）
- 第3次医療施設の1時間カバー率（面積）

・自然・歴史・文化

- グリーン庁舎改修の達成度
- 日常生活中心への安定到達率

・競争力

- 渋滞による経済損失額・損失時間（損失額）
- 渋滞による経済損失額・損失時間（損失時間）
- 空港・港湾のIC連結率（空港）
- 空港・港湾のIC連結率（港湾）

・交流連携

- 高速道路ICの30分カバー率（人口）
- 高速道路ICの30分カバー率（面積）
- 主要都市間の所要時間短縮率
- 都市間連携率

の指標は、減少を目指す指標であるので、H14 初期値を0%としている。

1 - 2 アウトカム指標の目標別進捗状況

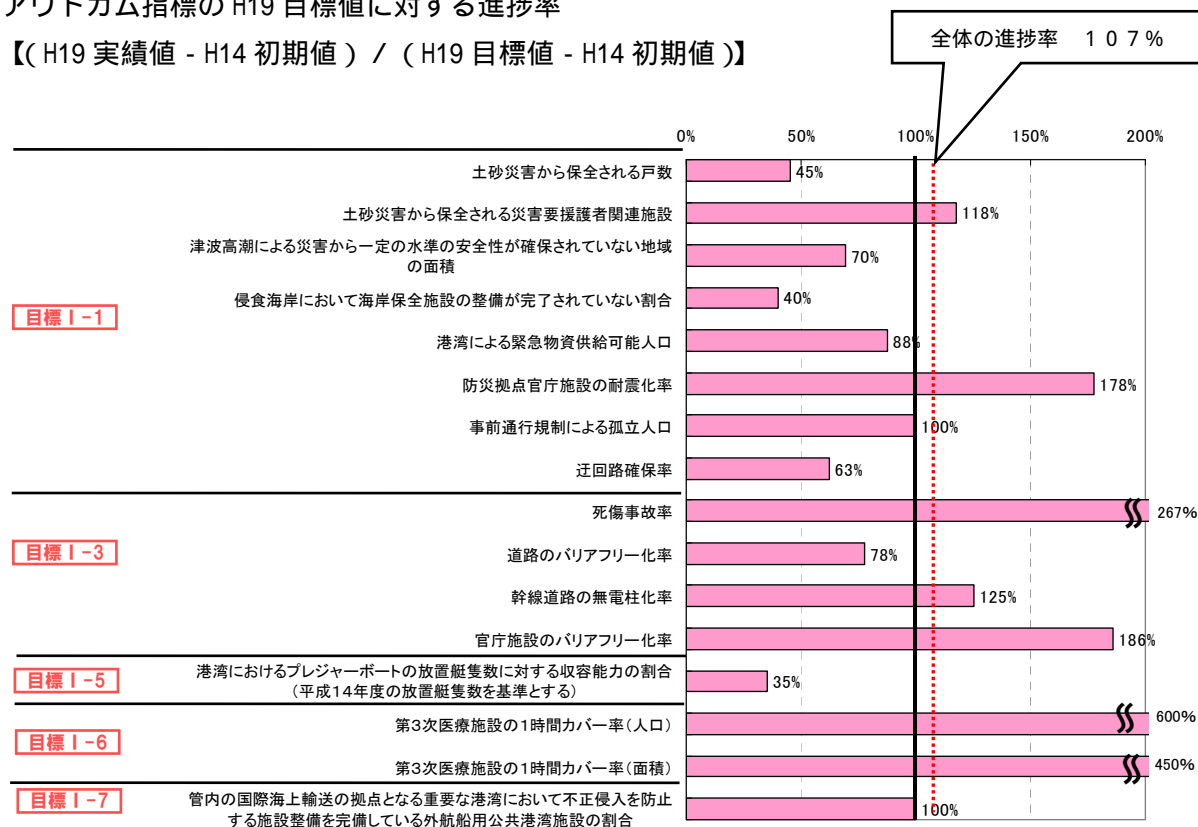
『安全・安心』のアウトカム指標の進捗状況

「土砂災害から保全される戸数」、「津波高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積」、「侵食海岸において海岸保全施設の整備が完了されていない割合」、「港湾による緊急物資供給可能人口」、「迂回路確保率」、「道路のバリアフリー化率」はいずれも H19 目標値に対する進捗率が 90%以上となっているが、H19 目標値に対する H14 初期値からの伸びは柱全体の伸び平均である 107%を下回る結果となっている。

これらの指標については今後、目標達成に向けた取り組みを強化する必要がある。

アウトカム指標の H19 目標値に対する進捗率

【(H19 実績値 - H14 初期値) / (H19 目標値 - H14 初期値)】



進捗率は、H14 初期値、H19 実績値、H19 目標値が明確である指標について計算し、算出できない指標は除いて算出している

算出できない指標は、以下の通り

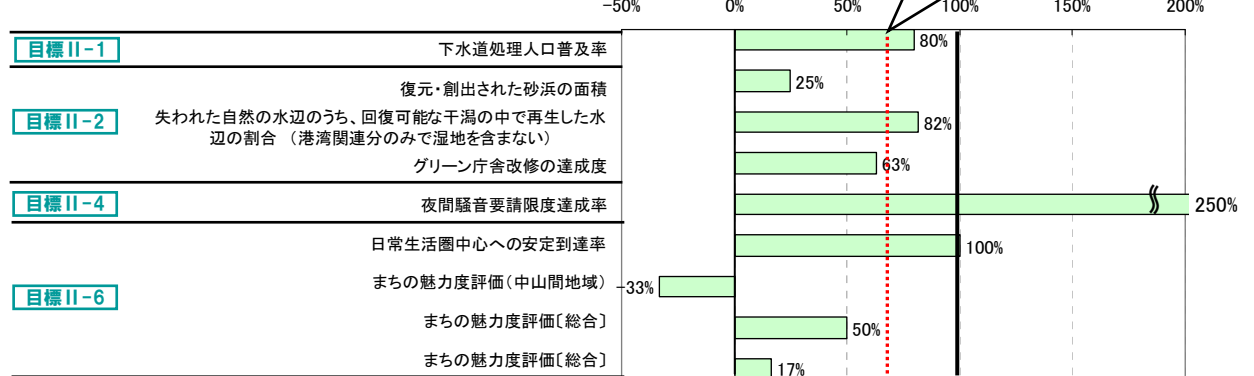
重点的な投資により浸水被害の解消を図る戸数
 近年床上浸水の頻発している河川での浸水被害を解消する戸数
 新たな都市用水の確保
 安芸灘諸島において内地と安定した交流ができる人の割合

『自然・歴史・文化』のアウトカム指標の進捗状況

「復元・創出された砂浜の面積」は、H19 目標値に対する進捗率が73%であるが、H19 目標値に対する H14 初期値からの伸びは25%となっており柱全体の伸び平均である70%を下回る結果となっている。
 今後、目標達成に向けた取り組みを強化する必要がある。

アウトカム指標のH19 目標値に対する進捗率

【(H19 実績値 - H14 初期値) / (H19 目標値 - H14 初期値)】



進捗率は、H14 初期値、H19 実績値、H19 目標値が明確である指標について計算し、算出できない指標は除いて算出している

算出できない指標は、以下の通り

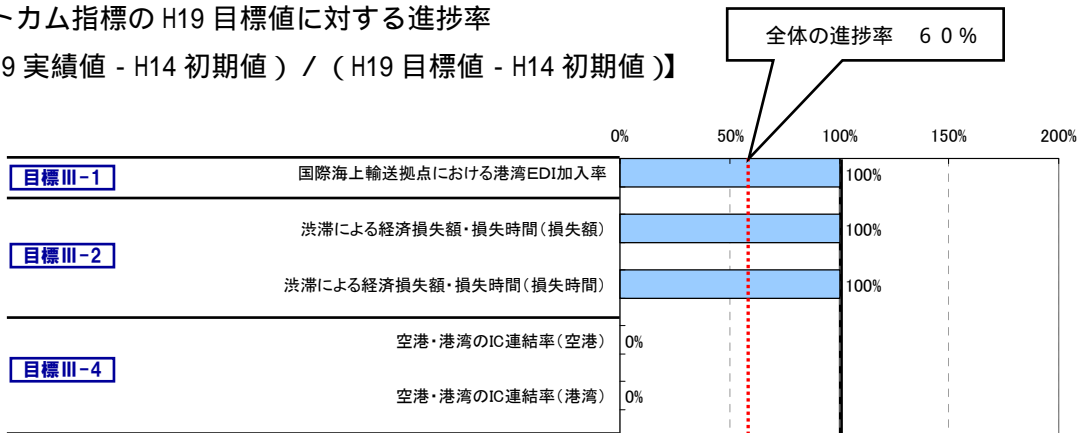
可能な限り減量化したうえで海面処分場でも受入が必要な廃棄物の受入

『競争力』のアウトカム指標の進捗状況

「空港・港湾のIC連結率（空港・港湾）」は、H19 目標値に対する進捗率が80%前後となっているが、H19 目標値に対する H14 初期値からの伸びは柱全体の伸び平均である60%を下回る結果となっている。
 今後、目標達成に向けた取り組みを強化する必要がある。

アウトカム指標のH19 目標値に対する進捗率

【(H19 実績値 - H14 初期値) / (H19 目標値 - H14 初期値)】



進捗率は、H14 初期値、H19 実績値、H19 目標値が明確である指標について計算し、算出できない指標は除いて算出している

算出できない指標は、以下の通り

国際コンテナ貨物のダイレクト輸送率
 雑貨の内航海運輸率
 全工事発注（整備局）のうち新技術・新工法を活用する割合

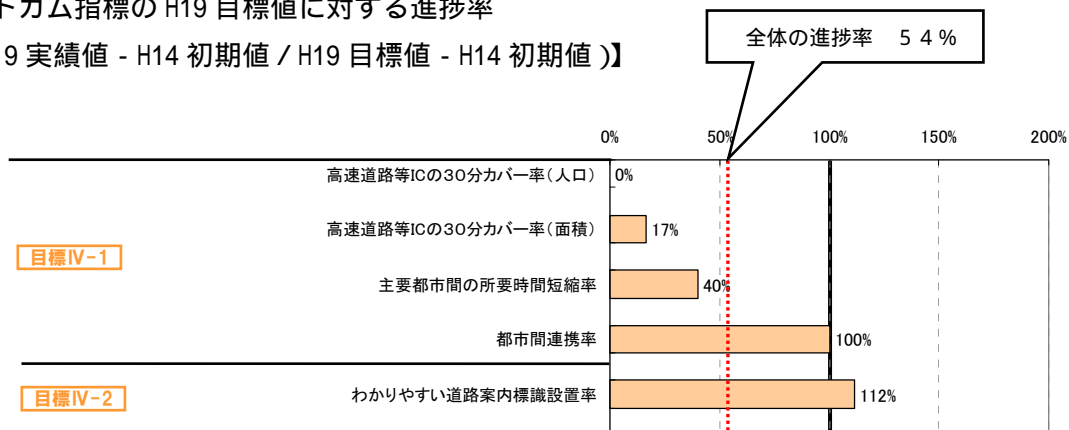
『交流・連携』のアウトカム指標の進捗状況

「高速道路 IC の 30 分カバー率（人口、面積）」は、いずれも H19 目標値に対する進捗率が 90% 以上となっているが、H19 目標値に対する H14 初期値からの伸びは柱全体の伸び平均である 54% を下回る結果となっている。

今後、目標達成に向けた取り組みを強化する必要がある。

アウトカム指標の H19 目標値に対する進捗率

【(H19 実績値 - H14 初期値 / H19 目標値 - H14 初期値)】



進捗率は、H14 初期値、H19 実績値、H19 目標値が明確である指標について計算し、算出できない指標は除いて算出している

算出できない指標は、以下の通り
広島空港の就航率

1-3 アウトカム指標の目標別状況一覧

重点目標

I	安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり
II	中国地方の美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり
III	競争力のある地域経済社会の再構築
IV	周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化

評価

A:	目標値(H19)を達成したもの
B:	目標値(H19)を達成できなかったもの
-:	H19目標設定のないもの

目標	事業区分	アウトカム指標				評価	
		項目	初期値(H14)	目標値(H19)	H19実績値	評価	
I	1	河川	重点的な投資により浸水被害の解消を図る戸数	-	約4,400戸	約2,900戸	B
I	1	河川	近年床上浸水の頻発している河川での浸水被害を解消する戸数	-	約1,000戸	約1,000戸	A
I	1	砂防	土砂災害から保全される戸数	約17.8万戸	約20万戸	約18.8万戸	B
I	1	砂防	土砂災害から保全される災害要援護者関連施設	約480施設	約650施設	約680施設	A
I	1	海岸	津波高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約22,600ha	約19,300ha	約20,300ha	B
I	1	海岸	侵食海岸において海岸保全施設の整備が完了されていない割合	約32%	約27%	約30%	B
I	1	港湾	港湾による緊急物資供給可能人口	約18万人	約58万人	約53万人	A
I	1	営繕	防災拠点官庁施設の耐震化率	50%	59%	66%	A
I	1	道路	事前通行規制による孤立人口	約15万人	約14万人	約14万人	A
I	1	道路	迂回路確保率	約84%	約92%	約89%	B
I	2	河川	新たな都市用水の確保	-	1日約46万トﾝ	1日約46万トﾝ	A
I	3	道路	死傷事故率	95件/億台km	92件/億台km	87件/億台km	B
I	3	道路	道路のバリアフリー化率	約38%	約65%	約59%	B
I	3	道路	幹線道路の無電柱化率	約7%	約15%	約17%	A
I	3	営繕	官庁施設のバリアフリー化率	78%	85%	91%	A
I	4	道路	安芸灘諸島において内地と安定した交流ができる人の割合	24%	- 約51% (完成時)	-	-
I	5	港湾	港湾におけるプレジャーボートの放置艇隻数に対する収容能力の割合(平成14年度の放置艇隻数を基準とする)	0%	17%	6%	B
I	6	道路	第3次医療施設の1時間カバー率(人口)	約87%	約88%	約93%	A
I	6	道路	第3次医療施設の1時間カバー率(面積)	約63%	約65%	約72%	A
I	7	港湾	管内の国際海上輸送の拠点となる重要な港湾において不正侵入を防止する施設整備を完備している外航船用公共港湾施設の割合	0%	100%	100%	A
II	1	下水	下水道処理人口普及率	50%	60%	58%	B
II	2	海岸	復元・創出された砂浜の面積	約140ha	約220ha	約160ha	B
II	2	港湾	失われた自然の水辺のうち、回復可能な干潟の中で再生した水辺の割合(港湾関連分のみで湿地を含まない)	12%	23%	21%	B
II	2	営繕	グリーン庁舎改修の達成度	27%	65%	51%	B

1-3 アウトカム指標の目標別状況一覧

重点目標

I	安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり
II	中国地方の美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり
III	競争力のある地域経済社会の再構築
IV	周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化

評価

A:	目標値(H19)を達成したもの
B:	目標値(H19)を達成できなかったもの
-:	H19目標設定のないもの

目標	事業区分	アウトカム指標				評価	
		項目	初期値(H14)	目標値(H19)	H19実績値	評価	
II	4	道路	夜間騒音要請限度達成率	約56%	約62%	約71%	A
II	5	港湾	可能な限り減量化したうえで海面処分場でも受入が必要な廃棄物の受入	—	常に100%	常に100%	A
II	6	道路	日常生活圏中心への安定到達率	約68%	約69%	約69%	A
II	6	その他	まちの魅力度評価(中山間地域)	2.7	3	2.6	B
II	6	その他	まちの魅力度評価[総合]	3.1	3.5	3.3	B
II	6	その他	まちの魅力度評価[総合]	2.9	3.5	3.0	B
III	1	港湾	国際コンテナ貨物のダイレクト輸送率	約26%	— 約45%(H22)	—	—
III	1	港湾	国際海上輸送拠点における港湾EDI加入率	29%	100%	100%	A
III	1	港湾	雑貨の内航海運輸送率	約30%	— 約35%(H22)	—	—
III	2	道路	渋滞による経済損失額・損失時間(損失額)	約5,900億円	約1割削減	約1割削減	A
III	2	道路	渋滞による経済損失額・損失時間(損失時間)	約195 百万人時間	約1割削減	約1割削減	A
III	4	道路	空港・港湾のIC連結率(空港)	約43%	約57%	約43%	B
III	4	道路	空港・港湾のIC連結率(港湾)	約35%	約41%	約35%	B
III	6	その他	全工事発注(整備局)のうち新技術・新工法を活用する割合	—	1割	5.5割	A
IV	1	道路	高速道路等ICの30分カバー率(人口)	約84%	約87%	約84%	B
IV	1	道路	高速道路等ICの30分カバー率(面積)	約68%	約74%	約69%	B
IV	1	道路	主要都市間の所要時間短縮率	—%	約5%短縮	約2%短縮	B
IV	1	道路	都市間連携率	約79%	約80%	約80%	A
IV	2	道路	わかりやすい道路案内標識設置率	約53%	約79%	約82%	A
IV	2	空港	広島空港の就航率	98.9%	— (完成時99.5%)	—	—